

第 58 回日本医学検査学会

(平成 21 年 7 月 30 日～8 月 1 日)

米坂 知昭*

医学検査が、健康社会に貢献するためには、臨床検査技師自らが、医師や医療関係者のみならず、地域社会とも密接に連携し、医学検査が市民の健康維持・管理に積極的に活用されるシステムを構築しなければならないと考えます。

そこで本学会は、開催地・横浜の「開港 150 周年」にあたる 2009 年を「ケンサ元年」と位置づけ、医学検査が新時代の健康社会の創造にむけて社会とともに出航する第一歩として、大きな機会提供を果たすことを使命とします。第 58 回日本医学検査学会は従来からの学術集会や学術展示の他に、一般公開プログラムである「ケンサ EXPO '09」を開催します。「ケンサ EXPO '09」は、「検査」をもっと身近に感じていただくため「ケンサ」と表記し、「より積極的に、自発的に健康を管理するための医学検査」という新しい視点を、一般の方にわかりやすく提示する、日本初の試みとなるものです。広く一般の方に、自分や家族、愛する人のからだを守るため、もっと身近に、もっと積極的に“ケンサ”を取り込みましょう！と呼びかけます。大人も子どもも一緒になって楽しく学んでいただける場としたいと考えています。

本学会は、基本理念を「ケンサ元年 社会とともに歩む医学検査」とし、「健康社会創造に、医学検査はどんな貢献ができるのか ～患者へ・医療チームへ・病院経営へ・地域へ～」を学会テー

マに掲げて、平成 21 年 7 月 30 日(木)～8 月 1 日(土)に横浜市にあるパシフィコ横浜の会議センターならびに展示ホールにて開催します。

招待講演には神奈川県出身で、作詞家・女優をはじめ幅広い活動をされている阿木耀子氏を迎える予定です。特別講演は、① 遺伝子検査の標準化と新たな展開(東海大学医学部教授・宮地勇人先生)、② 高度医療への臨床検査技師チームの参画～市中病院での生体肝移植の経験～(JA 厚生連相模原協同病院病院長・高野靖悟先生)、③ 若者たちの性感染症の現状と予防に求められる視点～知識が行動につながるために～(社団法人 地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター・岩室紳也先生)の 3 つのテーマについて各先生にご講演いただきます。その他、検査研究班によるシンポジウムや教育カンファレンス、学術展示など非常に有意義な企画を準備して多くの皆様のご参加をお待ちしています。

また、一般公開プログラム「ケンサ EXPO '09」は 7 月 30 日(木)～8 月 2 日(日)、参加費無料で開催します。夏休み期間でもありますので、ぜひご家族でご来場いただき、検査を身近に体験してほしいと願っております。

本学会の演題募集要項や最新情報につきましては、ホームページ(<http://www.58jamt.jp/>)に掲載していますのでご参照下さい。

*第 58 回日本医学検査学会 学会長

桐蔭横浜大学医用工学部 生命医工学科(〒225-8502 神奈川県横浜市青葉区鉄町 1614)

t-yonesaka@cc.toin.ac.jp